

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 古河市立古河第三小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年66人、第2学年48人、第3学年47人、第4学年49人 第5学年51人、第6学年61人、合計322人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (特別な教科「道徳」、学級活動) ② 行事名 (演題テーマ「夢に向かって」) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	【スポーツを楽しむ心の醸成】 ○オリンピック候補選手(本校出身の空手組手女子61kg級 染谷真有美選手)との交流を通して、夢や目標をもつこと、時間の使い方や質の高い努力をすることの大切さを学び、今後の自分自身の生活に役立てる。 ○オリンピック候補選手の話や演技を、Zoomを活用して見たり聞いたり体験したりすることによって、スポーツのもつ楽しさや魅力に触れ、スポーツと豊かに関わる。
5 取組内容	(1)染谷選手を応援する「横断幕」の制作 (R2.12月下旬～R3.1月中旬) <ul style="list-style-type: none"> <li>下書き→デザインと文字の部分は、職員及び代表児童で制作した。</li> <li>色塗り→日の丸の部分は、全児童の右手の人差し指を使ってスタンプ形式で色を付けた。(右手の人差し指には、「集中力を高める」「夢の実現」という意味があるため)</li> <li>仕上げ→布周りのミシンがけ、はとめ等は職員で実施した。</li> </ul>  (2)オリンピック・パラリンピック関連の書籍の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>図書室にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置し、児童の興味・関心を高められるようにした。</li> </ul> 

(3) Zoom を活用したオンライン授業の実施（令和3年1月22日実施）  
 ○タブレット端末と大型テレビを活用して全児童参加型とした。

- ・5年生と6年生の代表児童は校長室、他児童（1年～6年）は各教室で染谷選手とのオンライン授業を実施した。
- ・染谷選手と代表児童のやりとりを Zoom を活用して各教室で視聴する形をとった。

〈授業の流れ〉

○事前準備 Zoom の通信確認等 10:45より実施

○授業（特別な教科「道徳」）開始 11:00～11:45

①自己紹介：5・6年生代表児童

②染谷選手のお話：自己紹介、テーマ「夢に向かって」について

③実演等：子どもたちができるような空手の基本等を染谷選手が実演し、全児童が各教室で一緒に実施

④質問コーナー：代表児童が質問

⑤サプライズ：染谷選手が1年、6年の時の担任の先生、中学生の時の学年の先生に来ていただいて当時を簡単に振り返った。

⑥まとめと子どもたちからの応援メッセージ

- ・三小のみんなで作った「横断幕」の説明と6年生全員からの応援メッセージビデオを見ていただいた。

⑦染谷選手から児童へメッセージ



(4) 染谷選手へ贈る色紙の作成（5・6年生児童）

- ・各学級で染谷選手とのオンライン授業を通して学んだことや感想等をまとめたものを各学級で作成

(5) 染谷選手に「横断幕」「色紙」「応援メッセージDVD」を郵送

- ・授業の様子を学校ホームページに掲載



## 6 主な成果

- ・染谷選手が古河三小出身であることで、児童にとって同選手が身近な存在となった。また、染谷選手にとっても後輩と交流できることはとても嬉しく感じていたようである。そのため、交流においては、染谷選手と本校児童の気持ちが通じ合い、一人一人の取組に真剣さが増し、より充実した活動となった。
- ・染谷選手との事前の打合せは、ご迷惑にならないようにメールを中心とした連絡を行った。また、時間を合わせて Zoom での打合せも行うことができた。それにより、現役の選手に講演を頂く難しさを軽減するとともに、授業のねらいや講演して頂きたい内容がスムーズに相手によく伝わり、当日の授業に生かすことができた。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染谷選手は現役の選手であり、また、新型コロナウイルス感染症の状況も加わり、日程調整等難しかったが、染谷選手や関係する皆様のご協力により、無事調整ができたことは大きな成果であった。</li> <li>・テーマ「夢に向かって」の染谷選手の講演は、児童にとって心に響くものとなった。児童の感想には、「これからは、目標をもって生活していく」などこれからの生活の良い目標となるものが多く見られた。また、オリンピック空手競技及び様々なスポーツに対する興味・関心が高まった。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom を活用したオンラインでの授業の実施</li> <li>・本校出身であるオリンピック候補選手との授業実践</li> <li>・実際に現在オリンピックを目指している選手との交流を通じた活動</li> <li>・タブレット端末と大型テレビを活用して、各教室で全児童がオンライン授業に参加</li> <li>・全児童による「横断幕」の制作</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染状況もあり、オンラインでの授業としたが、ICTの活用には、常にトラブルがあることが予想される。その対策が十分であったとは言えない。ICT 活用の際には、事前にトラブルに対する対応の仕方の研修等教育委員会とも連携して進めていく必要がある。</li> <li>・現役選手の招聘は、日程調整も含め難しい面があったが、空手連盟の事務局の方など関係する方々にご尽力いただき、感謝している。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、空手の代表選考会が、令和 3 年 4 月に予定されているので、メールや手紙を通して交流をもち、応援を継続していく。</li> <li>・染谷選手が日本代表選手になった際には、もう一度 Zoom 等のオンラインを活用し、授業を実施する。(東京オリンピックが開催された際には、どのような形であっても児童の応援を染谷選手に届けたい。)</li> </ul>